

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022年 2 月 9 日

事業所名：発達支援フォローアップ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	広さは十分確保しています。	はい:13名 わからない:1名 ・広いお部屋で活動しやすそうです。 ・施設が完成してから見学を行っていないため。	利用者の状態や活動内容に合わせて工夫し、今後も快適な環境の提供に努めてまいります。
	2 職員の適切な配置	保育士・児童指導員・言語聴覚士等、適切な人員を配置しています。	はい:9名 どちらともいえない:1名 わからない:4名 ・十分に足りていると思います。 ・送迎の際、人手が足りているのか不安に感じた。	必要に応じて保護者へ説明し今後も現状を継続していきます。送迎時は運転士を増員し、お子様にきめ細やかな対応ができるように努めていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用者が過ごす室内は段差はほぼなく、障がい特性に配慮した室内づくりをしています。玄関の段差は、支援員が必要に応じて補助や見守りを行い、勝手口の段差はゲージにて安全を確保しています。	はい:10名 わからない:4名 ・とても活動しやすい空間に配慮されてる。 ・段差や障害物が少ないので歩きやすそうに感じる。	今後も安全に配慮し、快適に過ごす事が出来るように努めていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃と消毒を行い清潔を保ち感染症対策を行っています。温度計・湿度計を設置し常時把握し、管理しています。利用者の手洗い・手指消毒をする等の支援を行っています。	はい:11名 わからない:3名 ・いつもきれいに整理されている。 ・広くて綺麗なお部屋で道具などもたくさんあって活動しやすそうです。	今後も快適に過ごす事が出来るように努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングで話し合い、必要に応じて業務改善や支援の振り返り、共有出来るように努めています。		今後も現状を継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は行っていません。		要望があれば、今後外部評価の活用を検討したいと思います。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内での研修や、外部講師による研修に参加し、全ての職員と共有することで、資質の向上に努めています。		今後も社内研修や外部研修に参加し、知識・技術の習得に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援期間毎に面談(感染対策のため、現在は電話等です)を行い、保護者との支援内容の確認を行っています。お子様の日々の様子を観察した上で、保護者と課題共有し、計画書を作成しています。	はい:14名 ・こちらの要望を細かく聞いて下さり、子供たちの為にご尽力いただいています。 ・しっかりと聞き取って下さり、計画書が作成されていると思った。	今後も現状を継続していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団療育・個別療育での様子をもとに、個々の特性・課題に応じた計画書を作成しています。		今後も現状を継続していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者と課題共有したことをもとに、項目設定を行っています。項目ごとに具体的な目標と支援内容をわかりやすく記載するように努めています。	はい:14名 こちらの話を聞いて、必要なことも盛り込んで支援して下さいます。	今後も現状を継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々のミーティングで職員全体で情報共有し、支援計画をもとに、統一した支援を行っています。	はい:14名 計画に沿って毎回支援して頂いていると感じています。	今後も現状を継続していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体での日々の活動を振り返り、お子様の特性や状況に合わせて、毎日の活動プログラムを考え立案・修正しています。		今後も現状を継続していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は、学校終了後、長期休暇や学校の代休時は、午前から施設受け入れを行っています。長期休暇には、未就学児と共にレクリエーションや調理実習を取り入れながら支援しています。		今後も現状を継続していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	お子様が意欲的に参加できるよう、季節の行事や様々なレクリエーションを用意し、色々な体験ができるように工夫しています。お子様の特性や状況に合わせて、職員全体で活動プログラムを構築し実施しています。	はい:11名 わからない:3名 ・毎回いろいろなイベントをやって下さって話を聞いて嬉しくなります。 ・毎日いろいろな活動があり、子供たちはとても喜んでいきます。	今後もお子様が興味をもって意欲的に取り組むことができるよう努めていきます。保護者の方にどのような活動をしているのか、発信する機会を設けるようにします。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、ミーティングを行い、お子様の直近利用時の様子や伝達事項・役割分担の確認を行っています。変更の際も、職員全体に都度伝達し、情報共有しています。		今後も現状を継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日のお子様の様子や特記事項、保護者からの伝達事項は記録し、翌日のミーティングにて情報共有しています。		今後も現状を継続していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	お子様の様子や支援内容については、記録し、ミーティングをする事で統一した支援を行い、必要に応じて支援の改善を行っています。		今後も現状を継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的モニタリングを行っています。保護者の方と現状を共有し、見直しを行っています。		今後も現状を継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が参加し、支援内容の方向性や情報共有を伝達できるよう努めています。		今後も現状を継続していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当の利用者はいません。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当の利用者はいません。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所や幼稚園・小学校と必要に応じて話し合い情報交換を行っていきます。		今後も、関係機関と情報共有を行い、連携を図っていきます。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じ関係機関と情報共有が図れるように対応いたします。		保護者からの要望があれば今後も検討していきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	連携は行っていますが、研修の受講は現在できておりません。		今後、必要に応じて研修の受講を検討いたします。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は行っていません。	はい:9名 わからない:5名	現在、予定はしていません。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍の為、行っていません。		今後も必要に応じて検討していきます。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約や面談時に保護者への説明を行います。	はい:14名 契約の際、丁寧に説明して下さいました。	今後も丁寧に説明を行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を示しながら説明を行っています。	はい:14名 契約の際、丁寧に説明して下さいました。	今後も丁寧に説明を行っていきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者の方から相談があれば、助言させていただいております。	はい:5名 わからない:8名 いいえ:1名 子供がどのような障害があるかは理解しているが、それに対してどのように接していいかわからない時がある。	今後も面談の場で必要に応じて対応できるように努めていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者との連絡ノートの活用と、お子様のお引き渡しの際の伝達や、必要時は電話を行い、日頃から情報共有できるように努めています。	はい:14名 ・困っていることもすぐにご対応していただいています。 ・日々の状況報告はされていてわかりやすいです。 ・送迎の際、子どもの1日の状況や課題を伝えてくれるので、ありがたいです。連絡ノートの記録もわかりやすいです。	今後も保護者の方へ分かりやすくお伝えし、共通理解に努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	お子様のお引き渡しの際や連絡ノートに記載の内容から、悩み等のお話を伺い対応しています。面談はコロナ禍の為、行っておりません。	はい:12名 いいえ:1名 わからない:1名 ・親身になって話を聞いてくれます。いつもありがとうございます。 ・面談はまだ行ったことないです。送迎の際にもう少し育児について相談にのって頂けると嬉しいです。	今後も、保護者の方がより相談できる環境を提供していけるように努めます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は行えていません。	はい:2名 いいえ:7名 わからない:5名 コロナの中でなかなか難しいとは思いますが、保護者会などはまだ参加した事がないので、そういった機会もあると嬉しいです。	保護者の方の必要性を勘案しながら検討いたします。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情対応及び対応内容の説明をさせていただいております。苦情があった際には、改善策を話し合い保護者の方へもお伝えさせていただきます。	はい:9名 わからない:5名 苦情についても、苦情があったとお知らせがないので、対応が出来ているか判断が難しいです。	苦情やご指摘をいただいた際は、迅速に対応致します。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、文字・絵カード・文章・メールなどのツールを使用し、意思疎通を図り伝達を行っています。	はい:14名 保護者に向けて、サービス提供記録やメールでのサービスがあるので配慮されていると思います。	今後も現状を継続していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現在、定期的な通信は発信しておりません。必要に応じて、お便りを配布して発信しています。	はい:7名 どちらともいえない:1名 いいえ:2名 わからない:4名 ・予定は事前に連絡があります。 ・遠足やイベント等、会報や写真で発信して頂けるので嬉しいです。	定期的な通信・ホームページ等を活用し、情報を発信出来るように努めていきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報等の書類は鍵付き書庫保管しており、職員全員に取り扱いの重要性を周知しています。破棄する書類は、シュレッダーを使用しています。	はい:14名 十分に注意されていると感じます。	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に緊急時の対応・避難先について等の説明をしています。各マニュアルを作成し、職員全員が周知しています。	はい:14名 契約の際、わかりやすく紙にまとめて説明して頂けて助かりました。	今後も現状を継続していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月に1回、各災害・不審者等の発生を想定した避難訓練を行っています。	はい:9名 いいえ:1名 わからない:4名 避難訓練など行っているのか、わからないので、そういう情報も教えて頂けると助かります。	今後も現状を継続し、避難訓練に取り組んでいきます。また、保護者の方へ訓練を行った内容など、丁寧に説明していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングや研修を行っております。		今後も現状を継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、対象児童はおりませんが、身体拘束を行う場合は、保護者と話し合い、同意をいただき支援計画に記載と記録を行います。		今後、様々な方法を検討した上で、やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者の方へ丁寧な説明をし、支援計画に記載します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあるお子様に対しては、保護者の指示のもと、対応しています。また、レクリエーション等で対象食物を提供しない、食事の際の、テーブル・椅子の区別、食後の清掃・消毒を行っています。		今後も現状を継続し、保護者または医師の指示書に基づいて、適正に対応していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは都度作成しています。作成後は、日々のミーティングで報告を行い、職員全体で周知徹底、改善に努めています。		今後も現状を継続し、再発防止・事故防止に努めていきます。